



平成 30 年度 亀代小学校
グランドデザイン (案)

【聖籠町 12 年カリキュラム 育てたい子ども像】
たくましく未来を切り拓く子ども



聖籠中学校の
学びへつなぐ

【コミュニティスクール実施校】

- ・学校運営協議会の参画
- ・地域学校協働本部の協力

【教育目標】 自分らしさを発揮し 共に生きる子ども
【重点目標】 自ら考え 判断し 表現する子ども

12年の柱	知	意欲的に学ぶ	徳	よりよい人間関係を築く	体	目標に向かって運動する	健康な生活をする
合い言葉	考え 解決していく		かかわり 認める		めあて きたえる		メディア 朝食
育てたい子ども像	自分の考えをもち、解決していく子ども		かかわりながら、自他を認め合う子ども		めあてをもち、心身をきたえる子ども		規則正しい生活習慣を身に付け、健康づくりに努める子ども
主な取組	① 基礎・基本の充実及び「アクティブラーニング」を取り入れた「分かって楽しい授業」づくりを推進する。 ② 「学習の3つの約束」を基本とした学習規律と学習スキルの徹底を図る。 ③ 学年の発達段階に応じた家庭学習を充実させる取組（家庭生活プラン）を推進する。		① 社会性を育成するために、CSSタイム、笑顔大漁亀っ子プラン（異年齢交流活動）を実施する。 ② 豊かな体験の充実及び、体験活動と道徳の授業との関連を図った取組を推進する。 ③ 家庭や地域と連携したあいさつ運動、ぼかぼかにつきり大作戦を実施する。		① 体力テストと授業を連動させ、めあてをもって体力が向上する取組を充実させる。		① 家庭と連携した生活習慣の改善（メディアコントロールと朝食の摂取）を推進する。
子どもの姿の評価	① 1,2年…国語、算数のワークテスト（知識・技能、思考・判断、話す・聞く、書く）で全国平均を上回る児童の割合を80%以上にする。 3~6年…県Web配信システムの正答率が県平均を上回る回数を年8回以上にする。⊕ ② 低・中・高学年の学習規律、学習スキルのA評価の児童の割合を80%以上にする。⊕ ③ 家庭学習「学年×10分」以上取り組む児童の割合を75%以上にする。⊕		① 異年齢交流活動では、学年の発達段階に応じた事前指導や振り返りを毎回行う。⊕ ② 「道徳」の指導計画と対応した意図的な体験活動を学期2回以上設定する。⊕ ③ 自分から進んで「おはよう」のあいさつを交わすことができる児童の割合を85%以上にする。⊕（町共通評価項目）		① 第1回、第2回の体力テストで、県平均を上回る種目を全実施種目のうち60種目以上にする。⊕ ⊕…保護者の評価 ⊕…教師の評価 ⊕…客観的データによる評価		① メディア2時間以内の児童の割合を75%以上、朝食を摂取する児童の割合を95%以上にする。⊕

個の力を伸ばす教育の推進 ~一人一人の教育的ニーズを理解する学校 子どもの人権を尊重する学校 いじめを見逃さない学校~

【保護者との連携】 ~信頼される学校~

- ・家庭学習強調習慣、家読への協力
- ・携帯メール配信の100%の登録
- ・研修を加えたPTA活動の実施
- ・自転車ヘルメット着用の奨励

【津波への対応】 ~命を守る取組~

- ・一工夫した避難訓練の実施
- ・県防災教育プログラムの計画的な実施
- ・緊急時の連絡、引き渡し方法の再点検
- ・総合防災訓練実施に向けた準備

【地域との連携】 ~子どもは町の宝~

- ・誰とでも「あいさつ」が交わせる関係づくり
- ・地域学校協働活動の充実
- ・交通事故防止の取組
- ・地域行事への積極的な参加

- <地域学校協働活動>
- ・合同あいさつ運動
 - ・運動会の地域種目
 - ・ラジオ体操プロジェクト
 - ・道徳の授業づくり
 - ・子どもサポーター懇談会

十二年カリキュラムの実施・点検・評価

亀代こども園
の育ちから